

# 地域連携センター Newsletter

## 特集：コロナ禍における大学の取り組み

### コロナ禍における大学の取り組みを振り返って

群馬県立県民健康科学大学 学長 高田 邦昭



昨年1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染者が出てから一年と少し経ちました。一昨年末に中国の武漢から始まった感染は、世界中での大規模な感染へと広がり、文字通りパンデミックの状況となりました。

小学校、中学校、高等学校への休業要請、緊急事態宣言の二度にわたる発出など、日本社会は大きな影響を受けました。このような状況に直面し、本学では危機管理規程に基づき危機対策本部を設置して対応に当たりました。前期授業は、遠隔授業ワーキンググループを中心に準備を進め、5月連休明けから遠隔授業方式で開始しました。

新生や在学学生へのオリエンテーションなども動画配信でおこなうなど、初めての試みが多かったのですが、教職員の工夫と学生の協力により、前期を無事に乗り切ることが出来ました。地域連携センター事業の看護学教員養成課程は、基本的には大学院に準じて遠隔授業と対面授業を行いました。今年度から始まった特定行為研修課程は、当初から基本e-ラーニングの予定だったので、コロナ禍の中では比較的順調でした。感染もある程度落ち着いた後期は、首都圏などが対象の緊急事態宣言が1月に出るまでは対面中心での教育を行いました。また、公開講座については、動画配信での開催となりました。

感染状況は、刻一刻と変わり、ひと月前には予想だにできなかった事態になったことが一度や二度ではありませんでした。このように、対応措置をあざ笑うかのように急速に変化する感染と、それに対応する国や県の施策とも整合性を取りながら、手持ちのリソースをどう配分するかという大学運営は困難なものでした。

本学は、建学の基本理念に、「保健医療専門職を養成」し、「県民の保健・医療・福祉環境の更なる向上に寄与」することを掲げています。現在のコロナとの戦いにおいて、社会で必要とされる看護師、保健師、診療放射線技師の養成と高度化をはかり、社会へ送り出していくことを最優先課題として大学運営に当たった一年でした。

#### ❖ 学内の感染予防対策 ❖



教職員、学生ひとりひとりが、感染予防対策を徹底しながら、大学における学びの質を保つために日々努力しています。



正面玄関には体温測定機器を設置し、来学時の体温チェック！

各講義室前には手指消毒セットをスタンバイ



## 活動紹介：コロナ禍における大学の取り組みの実際

### 【看護学実習での取り組み】

看護学部 教授 狩野 太郎

令和2年度はコロナ禍に伴い、看護学実習の受け入れが中止・縮小されるなど大きな影響がありました。受け入れ中止等への対応として、モデル人形や高機能シミュレーターを使った実践的な実技演習、実習目標が達成できるよう教員が知恵を絞って制作したシナリオ教材や動画などを用いた学内演習行いました。



学内演習では、教員が患者さん役や病気の子を心配する親の役を演じるなど様々な工夫がされていました。

感染拡大に伴い年末以降は実習の受け入れ中止がさらに増加しましたが、感染予防策を徹底しながら受け入れを継続して下さる施設もあり、すべての学生が実際の臨床の現場で受け持ち患者さんへの看護を実践できました(写真)。今年度は例年以上に実習ができるよこびや有り難さを感じながら、生き生きと患者さんに接する学生達の様子が見られました。

大変な状況の中で実習にご協力を頂きました関係機関、患者・家族の皆さまに心より感謝申し上げます。



### 【放射線学部における遠隔授業（実験科目）での取り組み】

診療放射線学部 准教授 高橋 哲彦

昨年4月～8月まで、2年次の専門基礎科目「医療電気・電子工学実験」を遠隔で行いました。この授業では、受講生12名全員が、電子回路製作・検査や、変圧器の特性計測など3種の実験をします。

回路製作では、工具一式を大学から借り受け、各自宅で電子回路を作りました。課題はそれぞれ1～2か月を要します。そこで遠隔授業を滞りなく進めるため、製品開発プロジェクトなどで用いるWBS (Work Break down Structure: 作業分解構造) という手法で実験の進捗を「見える化」しました。毎週の授業にオンラインで集まり、①各々の1週間の進捗を報告、②教員から翌週分の課題をビデオで提示、③質疑応答、を行い、全員で進捗を共有しました。

学内で行う計測実験は最小限に絞り、交代制にしました(写真)。各課題の終わりにオンラインで成果発表を行い、全員がプレゼンスライド作成と発表を経験しました。担当教員も学生も初めての遠隔授業でしたが、学内の遠隔授業ワーキンググループの支援を得つつ、課題を最後までやり遂げました。



## お知らせ

### ◆2021年度「出前講座」、「公開授業」のご案内

※詳細は、本学ホームページをご覧ください。URL: <http://www.gchs.ac.jp/>

### ◆2021年度「看護研究セミナー」、「看護研究個別支援成果報告会」のご案内

【開催方法】 web開催 Youtube 配信(オンデマンド)

【開催時期】 5月下旬(予定)

【受講料】 無料

【対象】 群馬県内の保健医療関係職の方

※詳細は、本学ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.gchs.ac.jp/topics/13707.html>

#### ■セミナー内容(90分前後)

セミナー1:「看護研究計画書の作成」

セミナー2:「看護研究における倫理と手続き」

セミナー3:「看護研究のための文献検索と文献検討」

#### ■看護研究個別支援成果報告会



発行: 群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1  
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <http://www.gchs.ac.jp/>